

# くらしき

普及指導センターだより 2013  
“人づくり、産地づくり、ブランドづくり”



岡山県備中県民局農林水産事業部  
倉敷農業普及指導センター

# 目 次

## I 特 集

ももの高品質安定生産の推進と産地を支える担い手の育成…………… 1

## II トピックス

認定農業者の育成 …………… 3

マスカット産地を支える新規就農者たち …………… 3

魅力ある商品へ！ブラッシュアップ！ …………… 4

地域農業を支える J A 出資型農業生産法人設立 …………… 4

県内初！大規模経営体でネットワークを発足 …………… 5

鶏糞と一発型肥料を組み合わせた省力低コストな米づくり …………… 5

ぶどう次世代品種の導入と高品質安定生産の推進 …………… 6

連島ごぼうの周年出荷に向けて …………… 6

環境に優しいにんじんのマメハモグリバエ防除対策 …………… 7

みんなで天敵に取り組み、アザミウマをやっつける！…………… 7

暑さに負けない！スイートピー栽培に向けて …………… 8

甘い♪小顔で長身、稲発酵粗飼料専用品種「たちすずか」を初収穫！ …………… 8

III 新農業士の紹介 …………… 9

IV 各種表彰事業受賞者 …………… 9

### 表紙写真の説明

左上 もものせん定講習会

左下 「短根ごぼう」栽培実証

右上 麦の現地研修会

右下 就農オリエンテーション

## ももの高品質安定生産の推進と産地を支える担い手の育成

J A 岡山西玉島北園芸協会（倉敷市）

浅原園芸組合（倉敷市）

吉備路もも出荷組合（倉敷市、総社市）

倉敷地域の活力あるもも産地の育成のため、今年度は次のような活動を行いました。

### 1 次世代ブランド品種の推進

次世代フルーツとして県が推奨している「おかやま夢白桃」の作付け推進のために、各地域の講習会や「農業塾」、「ももの初心者教室」の時に、品種特性や有利性を啓発し、作付け増加を進めました。

また、農林水産総合センターと連携し、吉備路地区に「おかやま夢白桃」の展示ほを設置し、摘果や葉面散布などを行い、栽培技術の向上のための生産量や品質調査を行いました。

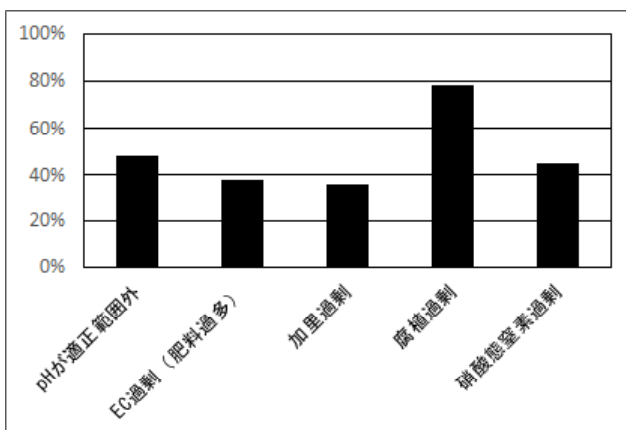


「おかやま夢白桃」の植え付け推進

### 2 「清水白桃」の高品質安定生産に向けて

主力品目である「清水白桃」は産地間の品質差が大きく、また天候によって生産不安定になりやすいといった問題があります。そこで、「清水白桃」の高品質安定生産のため、せん定強度の検討、土壌診断による施肥改善、生育や病害虫情報の提供などを行いました。

特に、A産地で土壌診断を行ったところ、施肥や土づくり過剰となっている園地が多いことが確認されたため、個別施肥相談会を行い改善指導をしました。



H25年度土壌診断結果（A産地）



個別施肥相談会の様子



### 3 マーケティング活動の支援

吉備路もも出荷組合のマーケティング活動支援のため、青年部創設の提案、フェイスブックページ(<https://www.facebook.com/kibijimomo>)の開設及び消費者交流会の開催等に対して協力しました。

引き続き、産地情報の発信や消費者交流会の開催などの産地PRに向けた活動に取り組めるよう支援していきます。



外部講師を招いてのフェイスブック勉強会



消費者を対象とした桃の袋掛け体験会

### 4 担い手育成

新規栽培者の確保・育成のため、JAと連携して「農業塾」を開催しています。「農業塾」では栽培技術の基礎の習得を目標に園地で講義と実習を行っています。

また、今年度からももの農業実務研修生や若手農業後継者を対象に「夜間講座」を開設し、ももの栽培技術の基礎から経営全般について総合的に勉強できるようにしました。

さらに、農業実務研修生（倉敷市：2人、総社市3人）の就農準備に向けた検討会などを開催し、円滑に就農できる受け皿体制を協議しました。

普及センターでは今後もこれらの活動を継続し、ももの産地の支援を行っていきます。



「農業塾」でももの収穫（倉敷市）



ももの夜間講座（県民局会議室）

## Ⅱ トピックス

### 認定農業者の育成

#### 認定農業者、認定志向農業者（全域）

倉敷管内では約500名の生産者が認定農業者として活躍され、農業経営改善計画の達成に向けて、効率的かつ安定的な経営の実現を図っています。

今年度は労務管理や6次産業化に関する講座を開催し、経営改善を図る多くの方が受講されました。引き続き、認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けて、経営講座の開催や経営コンサルティング等による積極的な支援を行っていきます。



労務管理に関する講座



6次産業化に関する講座

### マスカット産地を支える新規就農者たち

#### J A岡山西船穂町ぶどう部会

J A岡山西船穂町ぶどう部会では、新規参入者6名が約1haの規模でマスカット・オブ・アレキサンドリアの栽培を行っており、産地規模の約1割を占めるようになっていいます。今年度も新規参入者1名が就農して活躍しており、産地の維持、活性化に大いに貢献し、欠かせない存在となっています。



新規就農者の営農指導



マスカット祭り(後継者クラブ活動)



## 魅力ある商品へ！ブラッシュアップ！

### 倉敷地方農村生活交流グループ協議会（全域）

倉敷地方農村生活交流グループ協議会（会長：本行光子、15グループ、171人）は、昨年度からブラッシュアップ研修会（昨年度は商品力アップ研修会）を開催し、内容量や単価、ラベル、包装容器等の見直しや賞味期限検査等を行い、6次産業化商品として認められるような魅力的な商品へブラッシュアップを図っています。

今年度も「連島ごぼうの甘酢漬」「長寿漬（福神漬）」を新たに開発するとともに、「黒米甘酒」の容量やラベル等を見直し、より魅力的な商品へと生まれ変わりました。

今後は、商談シートを作成し、新たな販路へ売り込みたいと考えています。



第1回ブラッシュアップ研修会  
～ワークショップで魅力ある商品づくりを検討～



黒米甘酒



連島ごぼうの甘酢漬

## 地域農業を支えるJA出資型農業生産法人設立

### JA岡山西（倉敷市、早島町）

JA岡山西は9月4日、「(株)岡山西アグリサポート」を設立しました。

以前JAが実施した営農意向調査で、JAに水田を預けたい組合員が30%と多かったため、地域農業の受け皿となるJA出資の会社を立ち上げました。くらしき東地区でまず始め、将来的にはJA管内全域を対象として事業を進められる予定です。

貸し出し農地は、JAが農用地利用調整組織を立ち上げ、新会社と受託者の会および規模拡大意向農家とで調整しながら利用権を設定し、有効活用されます。



拡大意向農家への農用地利用調整説明会



水稲の収穫受託作業

## 県内初！大規模経営体でネットワークを発足

JA岡山西吉備路アグリセンター（倉敷市真備町、総社市）

吉備路アグリセンター管内で9月11日、「吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク」が発足しました。農業を取り巻く環境が大きく変わるなかで本音で意見を交わし、今後の方向性を見いだしていける組織を目指しています。

研修会等で新技術や国の新施策に関する情報をタイムリーに入手し活用するとともに、会員相互で情報交換し、緊急時の作業受委託を行うなど交流が深まっています。

今後は、個別の経営体も加わり大規模ならではの課題の解決に向けて情報交換し、地域農業を活性化していきます。



設立総会后、記念撮影



麦の研修会(9月)

## 鶏糞と一発型肥料を組み合わせた省力低コストな米づくり

JA岡山西（総社市）

水稻栽培では規模拡大や米価格低下対策として、「省力」「低コスト」が重要です。

低コストで肥効が速効性である鶏糞と、省力的な一発型肥料で生育後半に肥効が出るタイプを基肥散布した試験区をつくり、一般的な一発型肥料のみの区と比較することで、暑い夏に穂肥が不要な一発型肥料の利点を活かしたまま肥料費を抑え、収量品質が確保できるか調査しました。試験区は特別栽培米の基準をクリアした施肥設計です。

試験区は成熟期が1週間遅れ、降雨等による倒伏で等級が若干下がったものの、他区より多収で食味値も良好でした。肥料費は約3,300～4,900円/10a低減できました。

今後は、大規模農家や集落営農組織等に情報提供し、データ収集の継続と普及を進めます。

**試験結果概要**（全て品種アケボノ、稚苗機械移植。成熟期は試験区10/22、他2区10/15）

試験区	基肥として散布		※数字は10aあたり(等級、食味値は除く)			
	有機質肥料	一発型肥料	収量(kg)	等級	食味値	肥料費(円)
試験区	鶏糞300kg	エムコート002を25kg	610	2等上	89	7,525
一発型肥料区	なし	エムコート567GLを60kg	436	1等中	88	10,860
有機質入り一発型肥料区	なし	有機エムコート256を70kg	501	1等中	88	12,425

※等級は各等上・中・下の3段階で検査員が評価。食味値は高い方が良食味。肥料費は26年1月現在  
エムコート567GLは一般栽培用、有機エムコート256は特別栽培米栽培で使用される銘柄。



## ぶどう次世代品種の導入と高品質安定生産の推進

### 管内ぶどう生産組合および生産者（全域）

岡山県では「オーロラブラック」、「シャインマスカット」、「紫苑」を消費者ニーズが高く、収益性が高い次世代フルーツと位置づけ、生産振興をしています。

普及センターでは、近年爆発的に生産量が増加している「シャインマスカット」の高品質生産を図るため、総社市の栽培展示ほにおいて、6月11日には適正な房作りを、9月12日には試食会および意見交換会を実施しました。



ほ場の説明をする園主



普及センターによる栽培のポイント説明

## 連島ごぼうの周年出荷に向けて

### J A倉敷かさや東部出荷組合（倉敷市）

倉敷市連島地域のJ A倉敷かさや東部出荷組合では「連島ごぼう」の生産・出荷に長年取り組んできました。この東部出荷組合青年部ではマーケティング活動に取り組む中で、消費者や市場のニーズに応えられるよう一年中新鮮な「連島ごぼう」を出荷するための端境期の作型確立に取り組んでおり、現在11～12月出荷する「短根ごぼう」の栽培実証を行っています。今年は、昨年確立した栽培技術で、各自のほ場で作付けに取り組み、試験出荷を行いました。この作型が安定することで、東部出荷組合の「連島ごぼう」は完全周年出荷体制になります。



マーケティング会議



試験出荷用の短根の連島ごぼう



## 環境に優しいにんじんのマメハモグリバエ防除対策

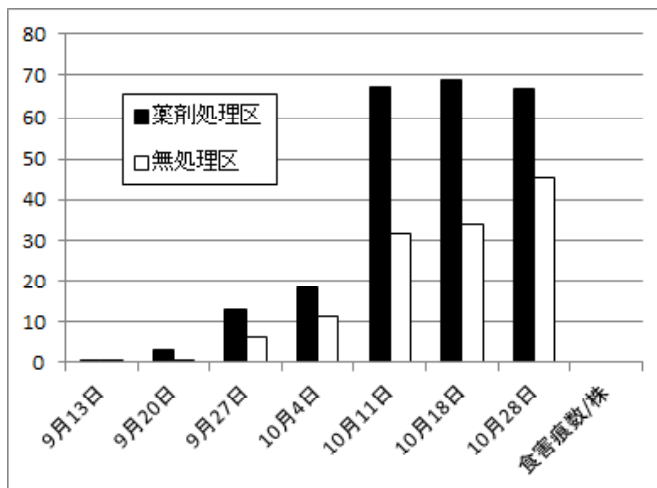
J A 岡山西船穂支店野菜部会（倉敷市船穂町）

船穂地区の金時にんじんは、西日本有数の産地ですが、近年マメハモグリバエの多発が大きな問題となっています。

マメハモグリバエ被害と播種時に処理している薬剤の関係を調査しました。調査の結果、土着天敵への影響が少ない無処理区の被害が少ないことが確認できました。今後は環境に優しく経費軽減できる効率的なマメハモグリバエの防除体系の検討を進めます。



金時にんじんの収穫



薬剤処理の有無と食害痕数/株の推移

## みんなで天敵に取り組み、アザミウマをやっつけろ！

福井新田茄子生産組合（総社市、倉敷市）

管内の促成なす栽培では、市販の天敵であるスワルスキーカブリダニを導入し、さらに土着天敵であるタバコカスミカメを併用することによって、ミナミキイロアザミウマを低い密度に抑える栽培を行っています。天敵を利用することにより、化学農薬の使用が6割も減り、低コストで農薬散布労力の省力にもなるので、少しずつ天敵導入農家が増加し、平成25年作はついに部会員全員で取り組むことになりました。今後は、バンカープラントと呼ばれる天敵の生息場所となる植物の検討を行い、栽培期間中の安定的な天敵の供給を検討していきます。



土着天敵のタバコカスミカメ



バンカープラントの栽植風景

## 暑さに負けない！スイートピー栽培に向けて・・・

### J A岡山西船穂町花き部会（倉敷市）

船穂町のスイートピー（生育適温15～20℃）のは種から生育初期は、以前は、ほぼ露地状態で管理していましたが、温暖化による高温傾向に加え、ゲリラ豪雨などにより、これまでになかった被害が発生しています。これを回避するため、ビニルの被覆下で管理されるようになり、以前より生育初期に高温の影響を受けやすくなっています。

そこで、アンケート調査を実施し、ほ場の環境条件を調査したところ、ハウスの開口部を十分確保し、また通気性のある遮熱資材、遮熱マルチ下に養液土耕チューブを設置し、雨天時でも昼間十分採光を確保しているほ場の生育が良好であることがわかりました。今後、部会研修会等で説明し、今後の栽培管理に活かしていきたいと思えます。



農家相互の巡回



## 甘～い♪小顔で長身、

## 稲発酵粗飼料専用品種「たちすずか」を初収穫！

### 集落営農組織（総社市）

現在約43haの稲発酵粗飼料が生産されています。品種は主にアケボノですが、畜産農家の要望を受け一部の地域で茎葉型の専用品種「たちすずか」の栽培が始まりました。

この品種は、栄養が茎に集まるので（だから茎が甘い）牛が消化しやすく、草丈150cm程度になります。収量は、約16ロール/10a（アケボノ約12ロール/10a）と多くとれました。今後は、交雑に注意しながら、畜産農家の需要に合わせた生産を支援していきます。



たちすずか10月上旬（収穫直前）



たちすずかの穂（籾が少ない）



### Ⅲ 新農業士の紹介



**村木 康子さん**（総社市）

〔基幹品目〕 もも

平成8年に夫とともに家業の桃栽培に就農した。県のもも共進会において、平成8年「3等賞」、平成15年に「農林水産大臣賞」、平成21年「奨励賞」を受賞するなど高品質・安定生産を実現している。

総社もも生産組合の組合員として、地域の技術力向上と新規就農者の受入等にも熱心に取り組み、産地の活性化に大いに貢献している。

### Ⅳ 各種表彰事業受賞者

#### 第46回岡山県農林漁業功労者表彰

（知事表彰：農産部門）

**浅野 坦さん**（倉敷市）

浅原園芸組合の副組合長と組合長を18年間務め、新品種のシャインマスカット、紫苑、夢白桃などの導入や、栽培管理の機械化、選果場への非破壊糖度センサーの導入に尽力した。



#### 第46回岡山県農林漁業功労者表彰

（知事表彰：農産部門）

**剣持 将己さん**（総社市）

吉備路もも出荷組合の設立に中心的役割を担い、組合長として選果基準の統一や非破壊糖度センサー選果機の導入、新規就農者の受入れや育成に尽力した。平成16～21年岡山県農業士。



#### 第46回岡山県農林漁業功労者表彰

（知事表彰：畜産部門）

**高田 勉さん**（倉敷市）

養鶏協会や飼料価格安定基金協会の理事として指導力を発揮し、養鶏農家の経営安定に努めた。また、畜産に起因する環境保全対策に取り組み、地域の環境問題解決に尽力した。



## 第53回岡山県農林漁業近代化表彰 農事組合法人 山田宮農組合（総社市）

基盤整備を機に平成18年に集落営農組織を設立し、平成23年に倉敷管内で最初に法人化した。学校給食へ特別栽培の朝日米の提供、イネWCS栽培、ナタマメの一次加工に取り組むなど、地域の農業振興に貢献している。



## 平成25年度優良活動団体等表彰 JA岡山西船穂町花き部会（倉敷市）

新規就農者の受け入れと就農支援を積極的に行い、平成10年から現在までに7名の新規参加者を育成した。就農後も早期経営確立のために継続的に支援を行い、現在では新規参加者が産地面積の25%と中心的な経営体となっている。



## 平成25年度岡山県農山漁村生活交流グループ 活動表彰（優秀賞）

### 連島生活改善教室（倉敷市）

平成6年に有志5名で「連島水曜ミニ朝市」を開設。以来、連島特産農産物であるゴボウやレンコンを活用した6次化商品の開発と販売を行い、平成19年に設置されたJA倉敷かさや直売所「パティオつらじま」を地域の食の拠点として定着させ、地域農業の振興に貢献した。



## 第60回矢野賞 平本 純大 さん（倉敷市）

平成10年にアレキの専業農家の後継者として就農。平成24年には「株式会社平本農園」として法人化を図り、自ら代表取締役役に就任して着実な経営発展に取り組んでいる。また、青年農業者クラブ会長を歴任し、農商工連携による加工品開発等による産地PRにも積極的に取り組む。県就農アドバイザーとして、新規就農者への指導や助言を行うなど、アレキの産地を担う若きリーダーとしても活躍している。





農薬使用にあたっては、次のことをきちんと守りましょう。

- ・ 農薬使用基準をきちんと守り、安全に使用しましょう。
- ・ 農薬使用をきちんと記録し、大切に保管しましょう。
- ・ 農薬使用前には、周りの栽培者との連絡・相談を密にしましょう。
- ・ 農薬使用にあたっては、飛散防止対策を行いましょよう。

岡山県備中県民局農林水産事業部  
倉敷農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島1083番地

TEL (086) 434-7047 (経営・担い手班)

(086) 434-7048 (産地指導第一班)

(086) 434-7049 (産地指導第二班)

FAX (086) 421-8253

HP <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

E-mail [kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp](mailto:kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp)